



おおつかましかお 議長  
大塚舜生 議長



平野小学校6年1組の皆さん



《答弁》 池田市長  
歩道橋と立体交差の建設は大変すばらしい提案ですが、莫大な費用がかかります。これら建設するには、事故を防止するという目的だけでなく、必要性や効果、建設後の維持管理などを検討し、市民の理解を得る必要があります。有料トンネルの無料化については、市も武田さんと同じ考えで、管理している長野県に毎年要望しています。これからも市では、皆さんが安心して登下校できるよう、安全・安心なまちづくりを目指していきたいと考えています。

1 七瀬方面の江部の交差点の混雑について



たけだともこ 議員  
武田智世 議員

《質問》 毎日登下校するときに江部の交差点を通ります。交差点は毎日とても混みます。すると、仕事に行く人が焦り、焦ると事故につながります。そこで、私から3つの提案があります。歩道橋の建設、立体交差の建設、有料トンネルの無料化です。

2 中野市のごみのポイ捨て、分別について



やまはらかのん 議員  
山浦花音 議員

《質問》 私たちが毎日通る通学路には、たくさんのごみが落ちています。また、プラごみや燃えるごみをきちんと分別していない人がいます。呼び掛けをしたり、ポスターを貼ったりチラシを配ったりすれば、少しは改善すると思います。

《答弁》 池田市長  
市では、交通量の多い道路を中心に、ポイ捨て防止看板を設置し、注意を呼び掛けています。また、各地域で定期的にパトロールをしてもらっています。ごみの分別については、広報紙でお知らせをしたり、住民の方への勉強会などを行ったりしています。これからもたくさん人が集まる場所で説明を行い、注意を呼び掛けていきたいと考えています。

山浦さんも、ごみのポイ捨て防止や正しい分別などの呼び掛けにご協力をお願いします。

《質問》 学校周辺の道路は、小学生やお年寄りがたくさん通っており、下校する時間にとっても混雑します。そこを自転車で通ろうとすると、とても危険です。事故を起こさないためにも、自転車専用の道路を作ってほしいです。そして、安全で安心して通れる道を増やしてほしいです。

3 自転車専用の道路を作ってほしい



やまだりょう 議員  
山田倫世 議員

《答弁》 池田市長  
事故のない明るい中野市にするために、自転車専用道路の建設は大変素晴らしい提案です。しかし、建設費や効果などを検討し、市民の理解を得る必要があります。時間をおいて考えさせていただきます。

山田さん、これからも事故に遭わないように気を付けていただき、お友達にも気を付けるように声を掛けてあげてください。



また、きのこを使った料理を提供する飲食店は、今でも市内にたくさんあります。市のホームページで「きのこレストラン特集」を掲載するなど、もっとPRできないか検討してみたいと思います。

《答弁》 池田市長  
マンホールのふたにきのこの模様を入れることは、市のPRとして大変有効だと思います。現在使用しているマンホールのデザインを今後変更する場合には、宮本さんの提案を参考にしたいと思います。

《答弁》 池田市長

《質問》 街中に、きのこの産地を思わせるものが少ないように感じます。そこで、マンホールのデザインに、さまざまなきこの模様を入れてみてはどうでしょうか。また、きのこをふんだんに使った料理を出す「きのこレストラン」を作ってみてはどうでしょうか。

4 **中野市をきのこであふれる街に**



宮本凌来 議員



谷中駿斗 議員

《質問》 ぼくの家の近くの公園には時計がありません。実際にぼくが1年生のときに、時間が分からなくて友達と夜7時くらいまで公園で遊んでしまったことがあります。低学年では、時計を持っていない子が少ないと思います。公園への時計の設置は、夜の事故や誘拐などの防止にもなると思います。

《答弁》 池田市長

《質問》 ぼくの家の近くの公園には時計がありません。実際にぼくが1年生のときに、時間が分からなくて友達と夜7時くらいまで公園で遊んでしまったことがあります。低学年では、時計を持っていない子が少ないと思います。公園への時計の設置は、夜の事故や誘拐などの防止にもなると思います。

《答弁》 池田市長

《質問》 ぼくの家の近くの公園には時計がありません。実際にぼくが1年生のときに、時間が分からなくて友達と夜7時くらいまで公園で遊んでしまったことがあります。低学年では、時計を持っていない子が少ないと思います。公園への時計の設置は、夜の事故や誘拐などの防止にもなると思います。

5 **公園に時計を設置してほしい**

《質問》 車を持っていないお年寄りが利用する「ふれあいバス」の運行は、週に5日間ではなく7日間にした方がいいと思います。また、お年寄りを学校の行事などに招待し、小中学生と交流する機会をもっと増やしてほしいです。

《答弁》 池田市長  
土曜日、日曜日にバスを走らせるのは、平日と同じぐらいのお客さんの数が見込めるようにならないと難しいと考えています。地域の大切な足となる乗り物を残していくために、バスの時刻に合わせて出掛けていただくなど、ご協力をお願いします。

《答弁》 池田市長

《質問》 車を持っていないお年寄りが利用する「ふれあいバス」の運行は、週に5日間ではなく7日間にした方がいいと思います。また、お年寄りを学校の行事などに招待し、小中学生と交流する機会をもっと増やしてほしいです。

6 **お年寄りをもっと暮らしやすい中野市へ**



山田真綾 議員